

重文千葉家の活用を考える会 第1回学習会

日時 平成26年11月7日(金)
午後1時30分から3時30分
場所 重要文化財千葉家住宅 座敷

次第

- 1 開会のことば
- 2 あいさつ
- 3 講師紹介
- 4 講義
千葉家の魅力と活かし方 横浜国立大学 大野 敏 教授
- 5 意見交換
- 6 閉会のことば

千葉家の魅力と活かし方

(建築の特徴と保存活用に向けた基礎的情報)

平成26年11月7日
横浜国立大学 教授
大野 敏

※ 今回の資料は今後の参考のためにもぜひ保存して、必要に応じて参照していただければ幸いです

民家の多様性 伝統的民家: 気候・風土・生業・階層



曲り屋と中門造

見た目は似ているが内容は全く異なる

分布地域
秋田・山形・福島・新潟・長野 旧盛岡藩領

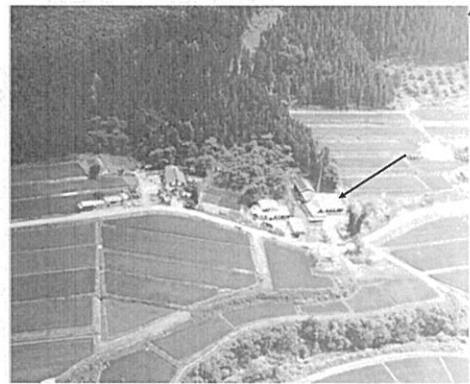
遺構の上限
17世紀まで遡る旧家多い 18世紀半ば直屋改造例あり

曲折部の機能
通路主体に馬屋併設もあり 馬屋

中門造
土障 障壁部
ツマヤ

曲がり屋
土障 障壁部
ツマヤ

中門造民家の重要遺構1 重文鈴木家(秋田)



個人所有

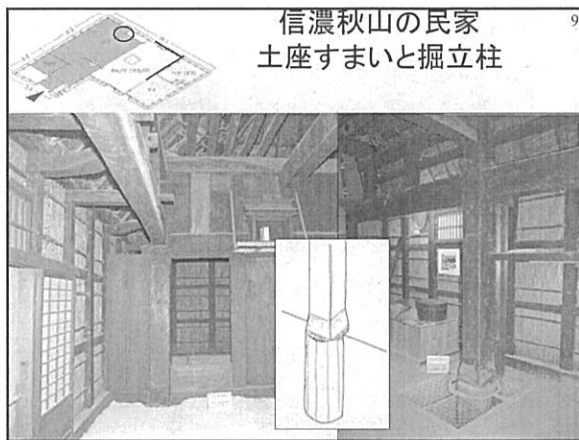
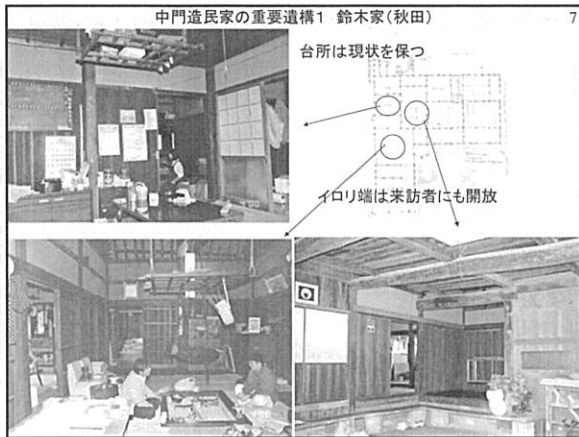
中門造民家の重要遺構1 鈴木家(秋田)

17世紀後期
主屋当初復原
中門一部現状修理
修理後も「住居」

中門造民家の重要遺構1 鈴木家(秋田)

敢えて洗濯物を中門オモテに干す生活を示す

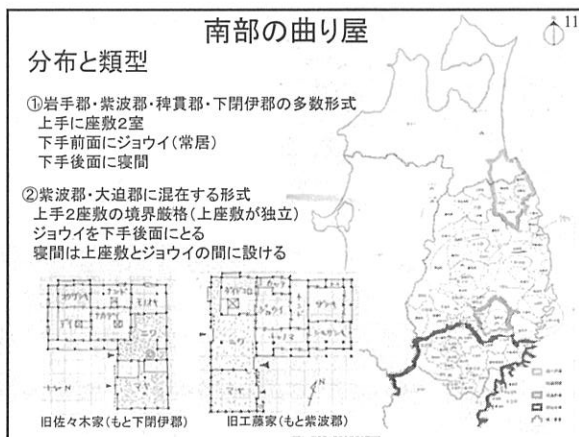
座敷は復原し、接客や儀式に使用



南部の曲り屋 10

内馬屋形式の発展形
背景
南部駒生産奨励
南部氏から秀吉・家康へ
→近世初期にブランド樹立
馬買役人は元禄4年(1691)とりやめ
→上せ馬(のぼせうま)として江戸へ届け

※遠野市では、伝承圖に移築保存公開されている重文旧菊池家(おしら様展示)や遠野ふるさと村の存在も重要です



曲り屋重要遺構2 重文旧小原家住宅 旧東和町 13

移築保存、建築年代は18世紀中期頃、
後世(嘉永頃19世紀半ば)に馬屋付加
→ 復原は馬屋付加時
地域の老人くらぶが管理(活動拠点)



谷内小学校跡地に移築して地域のコミュニティ施設的に利用



当初形式







移築後(中古復原)





移築前

曲り屋重要遺構2 旧小原家住宅 14







曲り屋重要遺構3 重文伊藤家住宅 旧東和町 15

現地保存、調査時は個人所有
建築年代は18世紀前期頃
→ 幕末以後に馬屋付加
→ 復原により馬屋撤去
→ H16公有化







修理後(当初復原)



修理前

曲り屋重要遺構3 伊藤家住宅 16

花巻市(旧東和町部分)田園空間博物館構想

曲り屋重要遺構4 重文旧佐々木家住宅 17

建築年代は19世紀後期頃
当初から馬屋設置
岩手県立博物館に移築・復原



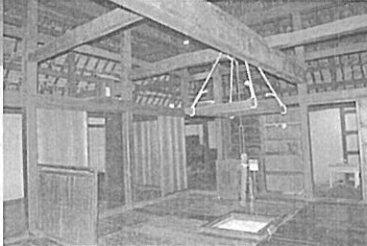



移築後(当初復原)



移築前

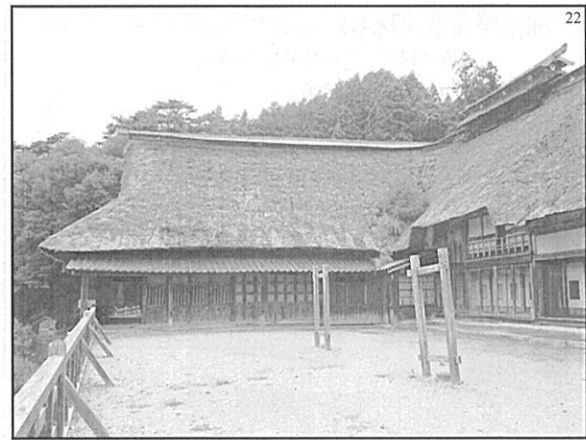
曲り屋重要遺構4 旧佐々木家住宅 18

指物(柱の上方を繋ぐ横架材)が大断面で矩形に近い

時代が新しい

内法上が開放=工藤家類似



千葉家の文化財的価値を判断する上の課題 ²³

- 屋敷と建物に関する実測調査
- 主屋の詳細調査
- 建築年代は？
- 当初から曲り屋か(石垣当初か)
- どのような変遷があるのか

千葉家住宅調査チーム H17に合同調査

月館敏栄(八戸工業大学 主査)
高橋恒夫(東北工業大学)
大野 敏(横浜国立大学)

大野は主に架構の特色と痕跡に基づく変遷について担当
協力者: 黒沢正夫・市川茂・安田徹也・野上哲也


日本民家園所蔵の千葉家写真 昭和42年頃 ²⁴

- 馬屋の棟が芝葺であった
- 馬屋の下屋庇屋根が板葺きであった
- ホラマエの玄関は既にある

貴重な情報

調査のポイント(当初から曲り屋か?) 25


①馬屋との取合い部を観察する



主屋正面側に下屋痕跡があれば当初直屋の可能性大 → ない

調査のポイント(当初から曲り屋か?) 26

①馬屋との取合い部を観察する



とりあえず馬屋取付は当初らしい

馬屋の規模を確認するべし


又首組: 又首(含掌)を組む簡素なつくり

和小屋: 束を立て貫で繋ぐ平間のかかるつくり

主屋小屋組は和小屋で精緻、馬屋は又首組仕事の違いは何を意味するのか?

調査のポイント(当初から曲り屋か?) 27

②馬屋の規模を観察する




当初馬屋の端部

矢印の柱に小根ほぞあり、土台も留らしい
→当初はここまでの可能性がある=石垣は後補

調査のポイント(当初から曲り屋か?) 28

②馬屋の規模を観察する




しかし隅のおさまりは古めかしく、前列の柱も古い

→ 小屋裏を再確認する必要がある

調査のポイント(当初から曲り屋か?) 29

③馬屋の小屋組を観察する 又首の仕様に注目

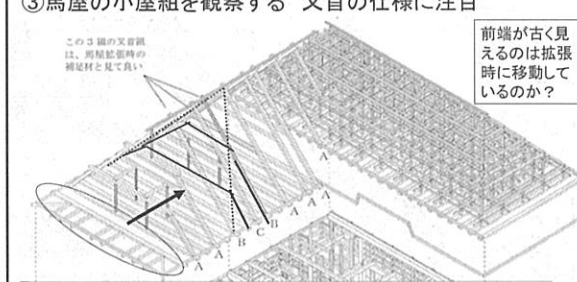


本来の野間木のすまぎ位置

又首の仕様が3種ある。	配置を見ると拡張が明か。本来の母屋先端痕跡
-------------	-----------------------

調査のポイント(当初から曲り屋か?) 30

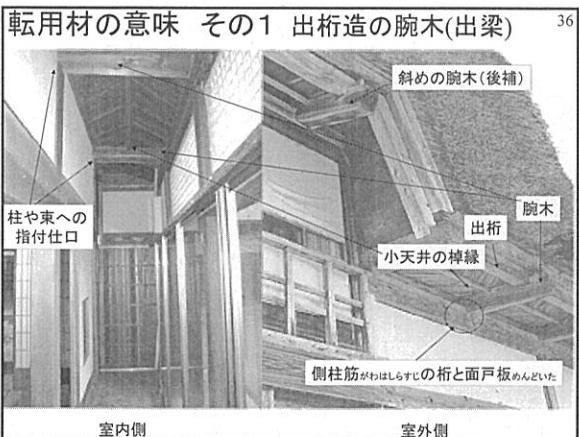
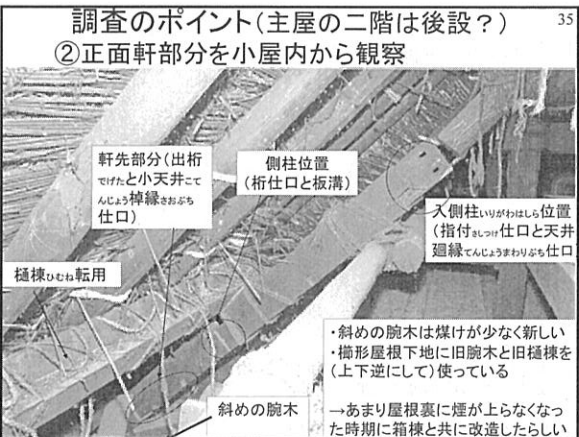
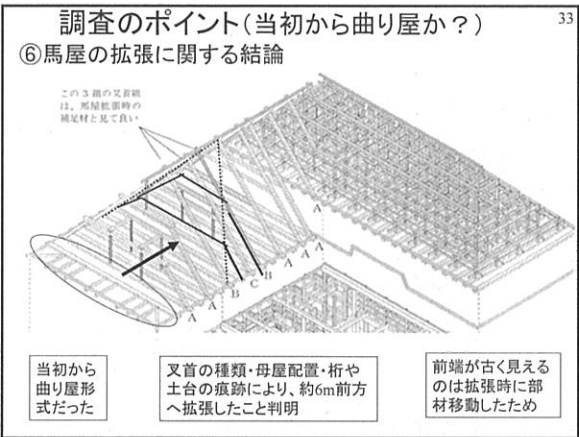
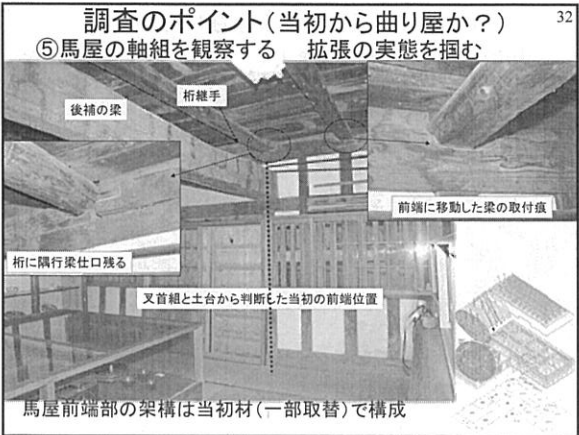
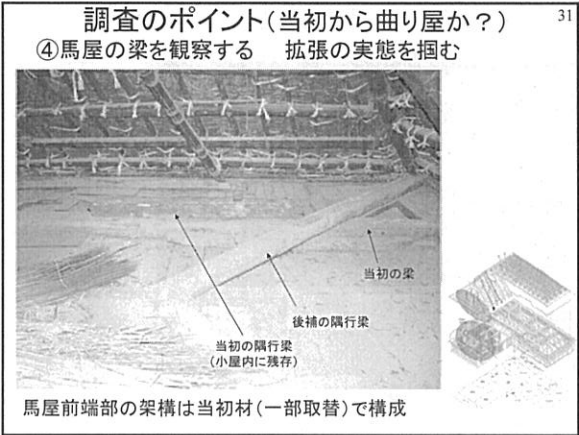
③馬屋の小屋組を観察する 又首の仕様に注目

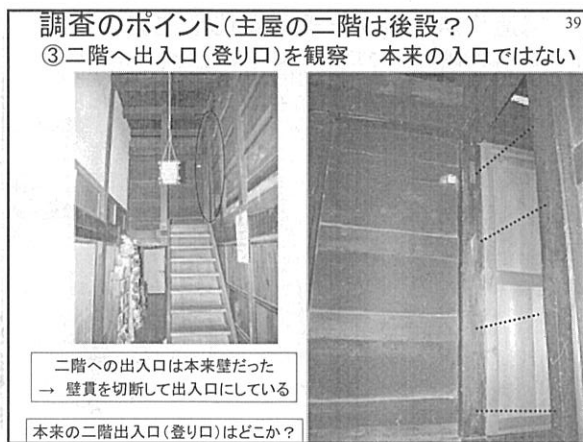
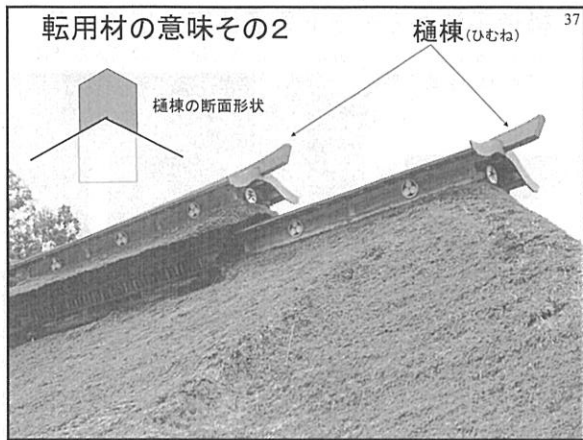


この3種の又首組は、増設工事時の補修材と見てよい

前端が古く見えるのは拡張時に移動しているのか?

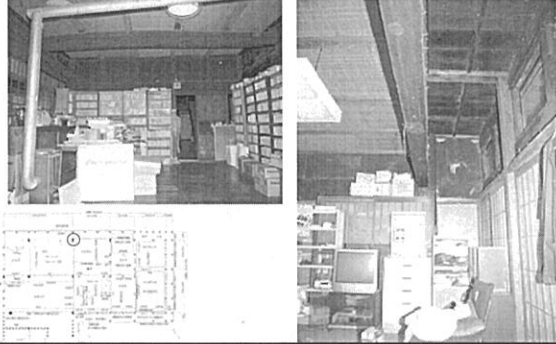
又首の仕様が3種ある。
A: 松材をチョウナで角材に粗加工、側面にヤナカ結束用の横栓指し、上面にヤナカ転び止めを指す。
B: 杉材、皮剥きとヨキ太鼓はつり、横栓のない部材
C: 杉材ヨキ矩形断面はつり、横栓も転び止めもない部材





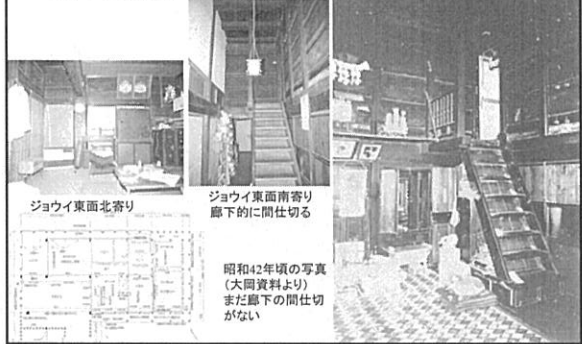
構造手法からみた千葉家住宅主屋の特色 43

- ④土間に張り出したダイドコロを広く構え、ジョウイとの境の後方に大黒柱を配する。



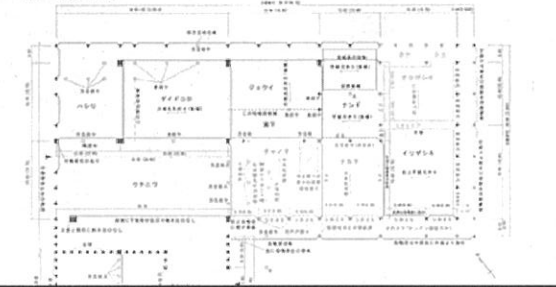
構造手法からみた千葉家住宅主屋の特色 44

- ⑤ジョウイとナンドの天井は、上屋まで達するの高大な空間であった(現廊下部分に一部残る)



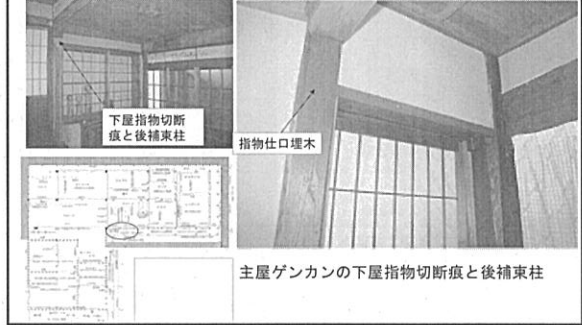
構造手法からみた千葉家住宅主屋の特色 45

- ⑥チャノマ・ナカマは低い根太天井とし、天井裏の中2階は物置空間とする。
 ⑦各部屋境はオクザシキを除いて長大な指鴨居で繋ぐ。
 ⑧居室部分の正面および東側面に内縁を廻し、側柱間は指鴨居で繋ぐ。



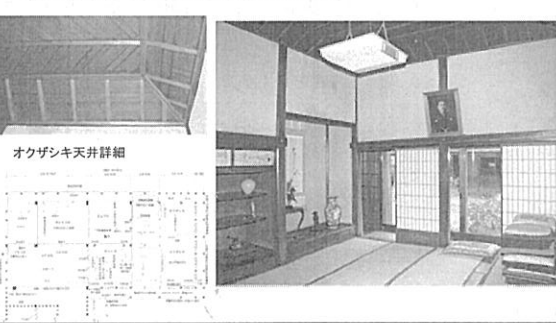
構造手法からみた千葉家住宅主屋の特色 46

- ⑨馬屋接続部分を除いて「出桁造りしたづくり(せがい軒)」とする。
 ⑩ホラメいに小室設置。旧は間口1間で現状玄関より規模小。ただしこの小室が当初から存在したかどうかは不明。



構造手法からみた千葉家住宅主屋の特色 47

- ⑪イリザシキとオクザシキの天井は、面皮材を用いた折上式の棹縁天井である。棹縁割付はオクザシキの方が細かく、板の張り方も矢筈となり凝っている。



活用の参考事例 重文 洞口家住宅(宮城) 48

- 屋敷は名主屋敷風情伝える(宅地指定)
 主屋18世紀前期 毎年「紅葉祭り」イベント開催
 主屋当初復原(住居は別)
 主屋を農家レストランに(周囲の主婦協力)
 「食文化」の継承とコミュニティ醸成




活用の参考事例 重文 彦部家住宅(群馬) 49

屋敷は土豪屋敷風情伝える(宅地指定)
 主屋17世紀前期
 主屋当初復原(一部現状維持)
 背面の角屋(明治)は染物業遺産として存続
 修理後も「住居」年中行事展示や講座
 「鳳純会」というボランティア組織により公開活動

毎年「紅葉狩り」イベント開催

主屋は東日本屈指の小民家

染物工場の角屋部は体験場と休憩・お土産場に利用



活用の参考事例 川崎市立日本民家園の活動 50

茅葺きなど伝統技術の公開

雪囲いを施した合掌造(五箇山の旧山田家)

三重の漁村歌舞伎舞台上で芸能公演

合掌造で自家製のそばを食べられる




活用の参考事例 51

みその公園・横溝屋敷(横浜) 公有化、現地保存
 名主の屋敷全体を保存して生活環境を展示公開
 横浜市文化財1号、「農村生活館」、運営委員会

主屋:M29、2階建養蚕住宅
 1階は6間取り、2階は蚕室
 蚕小屋:M29、2階建
 1階は桑場と味噌部屋
 2階を蚕室として使用

表門(長屋門):弘化4 1847
 軒の扱い注目

文庫蔵:安政4 1857
 穀蔵:天保12 1841



千葉家公開活用のために 52

- 千葉家を知る
 修理中の様子もたびたび見学して欲しい(語り部になる)
 屋敷環境や防災施設の知識も(家の「まもりて」)
- 地域の魅力を伝える(今までの生活を伝える)
 年中行事(お彼岸・お盆・田植え・稲刈り・十五夜...)
 屋敷神やお墓(右写真)
 冠婚葬祭
 冬の暮らし(雪囲い?)
- 休憩所・食事の提供?(食文化)
- 遠野観光の情報発信基地?
- 「できること」からはじめ、決して無理をしない

補足:音楽会なども可能性あり(CF 重文望月家住宅内でのジャズコンサートの新聞記事)

